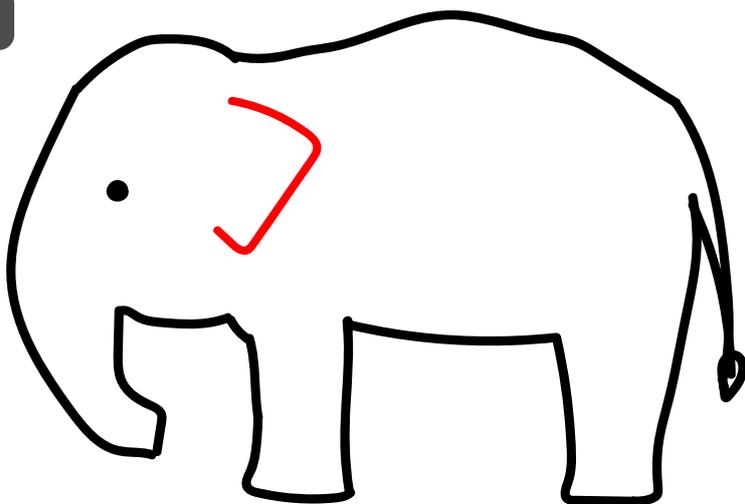


解説シート

インドゾウ

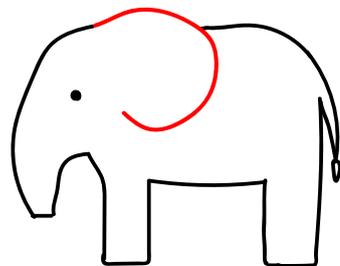
かいてみよう! 耳のかたちをかいてみよう

答え



▼アフリカゾウの耳

インドゾウに比べて大きく、形も異なります。



インドゾウはアフリカゾウに比べると耳が小さく、四角形に近い形をしています。耳は音を聞くこと以外にも、パタパタさせて**体温調節をするのに使われます**。耳の表面近くにはたくさんの血管があり、風に当てて血液を冷やし体に戻しています。

○をつけよう! ゾウのフンはどっち?

答え



▼スマトラトラのフン



1個1kg位のフンを1日60~80個ぐらいします。フンには消化しきれなかった植物の繊維や種などが多く含まれています。野生ではゾウは森林を移動しながらフンをします。落とされたフンの中にあつた種が芽を出すことで、植物が生える場所が広がっていきます。

○をつけよう！ ゾウははなをつかってなにをしていたかな？

答え

インドゾウの鼻は、上唇と鼻が合わさり長く伸びたものです。鼻にはにおいをかぐこと以外にも、物をつかむ、水を飲むなど多くの役割があります。鼻の中は筋肉のみで骨はなく、器用にもものをつかんだりいろいろな方向に動かすことができます。

ボルネオオランウータン

○をつけよう！ やせいではどこでくらすかな？

答え 木の上

野生のオランウータンはほとんどの時間を木の上で過ごします。手足の形やうでの長さなど、木の上での生活に適した体の特徴を持ちます。メスに比べて体の大きなオスは地上に降りることもあります。動物園ではエサが安定して手に入り、野生と比べると外敵がおらず安全な環境であることから、地上にいることが多いです。

野生では樹上の果実や木の皮、葉を食べます。東南アジアの熱帯雨林で、群れは作らず単独で暮らします。

○をつけよう！ オランウータンのあしはどっち？

答え



人間の足



オランウータンの手足はどちらも親指が他の4本指と向かい合っています。そのため人間に比べると足の指も器用に使うことができ、枝などをにぎり木の上を移動します。ただ手足ともに親指の先を動かして小さな物をつまむといった細かい作業をすることは難しく、私たち人間よりも樹上で生活するのに適した作りになっています。

▼オランウータンの手(左)と足(右)



○をつけよう！ オスはどっち？

答え



▼メスのボルネオオランウータン



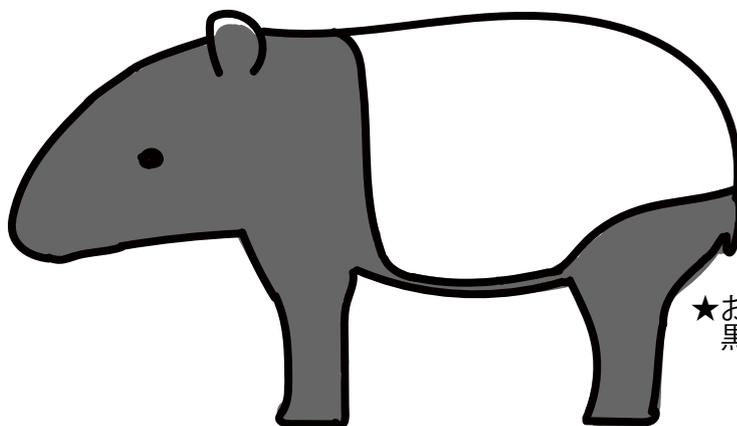
強いオスの顔周りには、フランジとよばれる肉ダレがあります。オスはこのフランジと大きな鳴き声で自分の強さを周囲にアピールします。また、オスの方がメスよりも体が大きいので体格差で見分けることもできます。

マレーバク

かいてみよう！ マレーバクのからだのもようをかいてみよう

答え

★耳の先は白色です



★お腹の下は
黒色です

マレーバクは夜行性（夜に活動する動物）です。白と黒に分かれた体の色は、暗い森の中で周りの景色に体の黒い部分がなじんで見えて、**体全体の輪郭を分かりづらくする効果がある**といわれます。これは分断色とよばれ、ヒョウなどの敵から身を守るのに役立ちます。

○をつけよう！ マレーバクのあしはどれ？

答え



マレーバクはきていもく奇蹄目に分類され、**足の蹄が奇数個（1つ、3つ）**の動物のグループに入ります。奇蹄目の動物の仲間にはウマ、ロバ、シマウマ、サイなどがいます。マレーバクは後ろ足は3つの蹄、前足は4つの蹄を持ちます。前足の蹄は偶数個ですが、中指にあたる部分で体重を支えているという点は奇蹄目の特徴に当てはまります。

似た呼び名で「くじらぐうていもく鯨偶蹄目」というグループの動物もいます。こちらの仲間にはウシ科のエランド、キリン科のキリン、オカピなどがいます。

▼ヒガシクロサイのあし（奇蹄目）



▼オカピのあし（鯨偶蹄目）



○をつけよう! とくいなことはどっち?

答え 水の中をおよぐ

泳ぎが得意で、池、沼など水辺を好みます。敵から泳いで逃げることもあります。ズーラシアでもよくプールに入る姿が見られます。水の中でフンをすることで、自分のフンのおいを消し敵から見つかりにくくなる効果があります。

スマトラトラ

○をつけよう！ スマトラトラの目はどっち？

答え



▼イエネコの目



瞳孔（目の真ん中にある黒い部分）を比べると、イエネコの目には縦長の瞳孔があります。一方スマトラトラは丸い形です。同じネコ科の動物でも縦長の形（イエネコ、ウンピョウなど）と丸い形（トラ、ライオンなど）の瞳孔を持つ動物がいます。瞳孔は暗いところでは大きく、明るいところでは小さくなり、目に入ってくる光の量を調節します。動物によって瞳孔の形が異なるのには、体の大きさ、つまりものを見る目線の高さの違いが関係しているといわれています。

○をつけよう！ 正しいのはどっち？

答え

1 とうでくらす

森林の中で単独で暮らしています。1頭ごとに広い縄張りを持ちます。生まれたばかりの子どもは母親とともにすごし、生後約2年で親を離れ独立します。

○をつけよう！ どうして体がしましまなのかな？

答え

まわりのけしきにかくれるため

トラは狩りをするとき、茂みに隠れてイノシシやシカなどの動物にしのびより、一気にとびかかります。しま模様は、草などの周りの景色にまぎれて自分の姿を獲物から見えづらくする効果があります。

アカアシドゥクラングル

かいてみよう! からだはなにいろ? みえたいいろをかいてみよう

答え

世界一美しいサルといわれ、体はいくつかの色からなります。赤茶（胸まわりと足）、黒（おでこの上、肩、手先、股、足先）、白（顔まわり、肘から手、尾）、灰色（頭、体）が見られます。となりの展示場にいるフランソワルトンの体の色は、黒と白の2色のみです。見比べて観察してみてください。

〇をつけよう! おなかのかたちはどっち?

答え ぽっこりしている

ぽっこりしている理由は、**大きな胃を持つ**ためです。

アカアシドゥクラングルは「リーフイーター」とよばれる、**木の葉を主食とするサル**の仲間です。リーフイーターの仲間はいくつかにくびれた大きな胃を持ちます。胃の中には微生物がすんでおり、微生物が木の葉の主成分であるセルロースを分解することで、葉から栄養をとることができます。ズーラシアで見られるリーフイーターの仲間は他にフランソワルトン、テングザル、アビシニアコロブスがあります。

〇をつけよう! 正しいのはどっち?

答え できない

長くて白い尻尾は、**木の上で生活する際バランスを取るのに使われます**。枝と枝の間を移動するときには腕を使います。同じく長い尾を持つウーリーモンキーは、尻尾を使ってモノをつかんだり木にぶらさがったりすることができます。同じサルの仲間でも種によって尻尾の使い方は異なります。



◀尻尾でロープをつかむウーリーモンキー